



▲「天乳池(明治34年)」

天乳池のはなし

加茂野町に「天乳(あまち)池」という池があります。

江戸時代の天明の飢饉(ききん)のころ、加茂野町の辺りもほかの所と同じように雨がまったく降りませんでした。雨ごいをしてもなかなか雨は降らず、そのため水の取り合いがあちこちで起こりました。そこで、村の田んぼに水が行き届くようにと、池を造るための土地を探したところ、ちょうどよい場所が見つかり、村人たち総出でつるはしや鍬を持って池を掘りました。この池のおかげで田んぼに水が入るようになり、村人たちは大変助かったということです。

現在の加茂野小学校の南にある「天乳池」がその池です。池の脇の石碑には「天明六年 天乳池」とあり、天から恵みの池だったことを物語る名前ともいえます。

▶池の脇にある石碑

